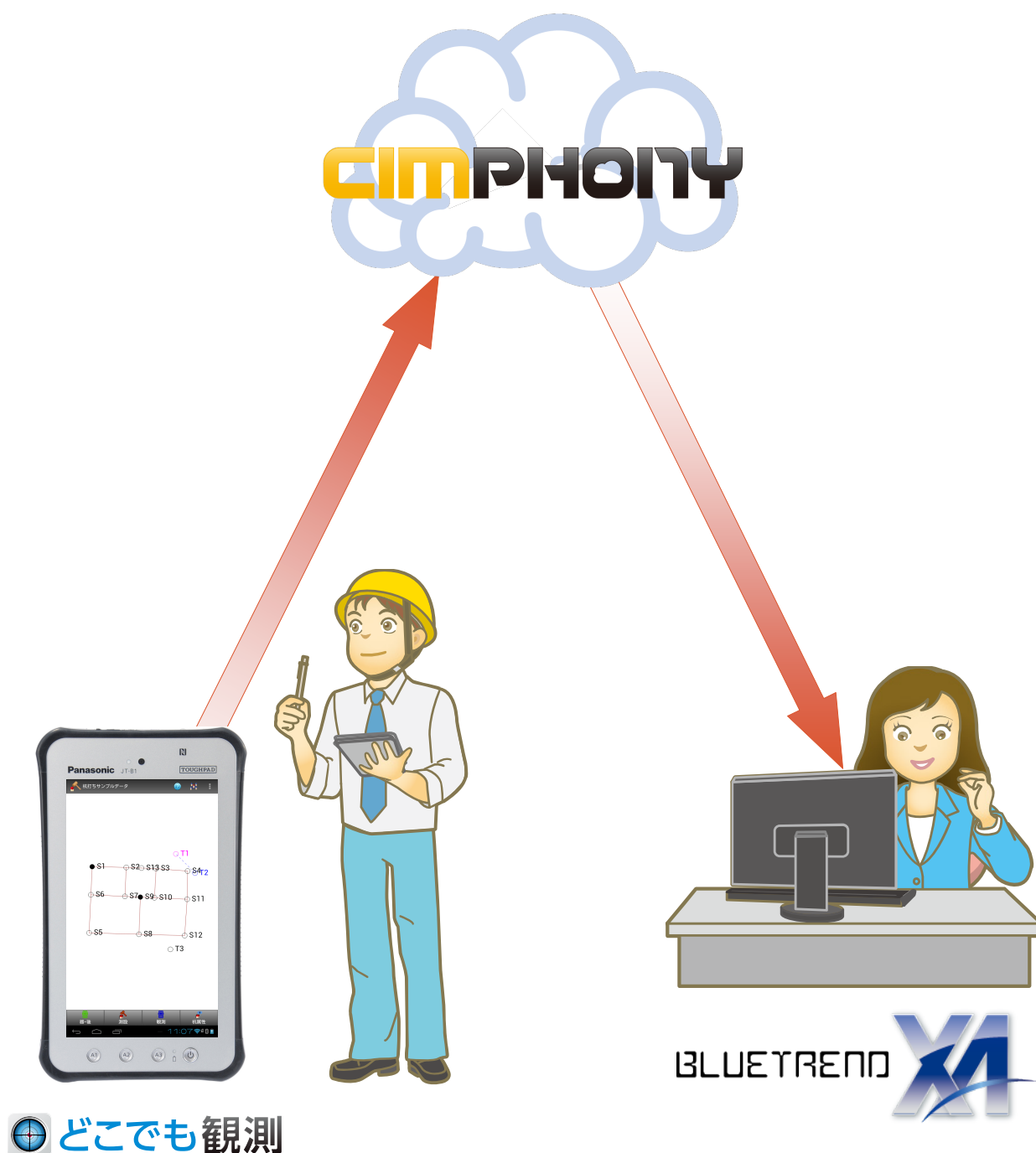


杭打ちツール連携

どこでも観測 杭打ちツールと BLUETREND XA の連携の操作を、簡単な入力例で解説しています。

※どこでも観測 杭打ちツールと BLUETREND XA とのデータ連携には、CIMPHONYのご契約とオプション「どこでも観測入出力」が必須となります。



目次

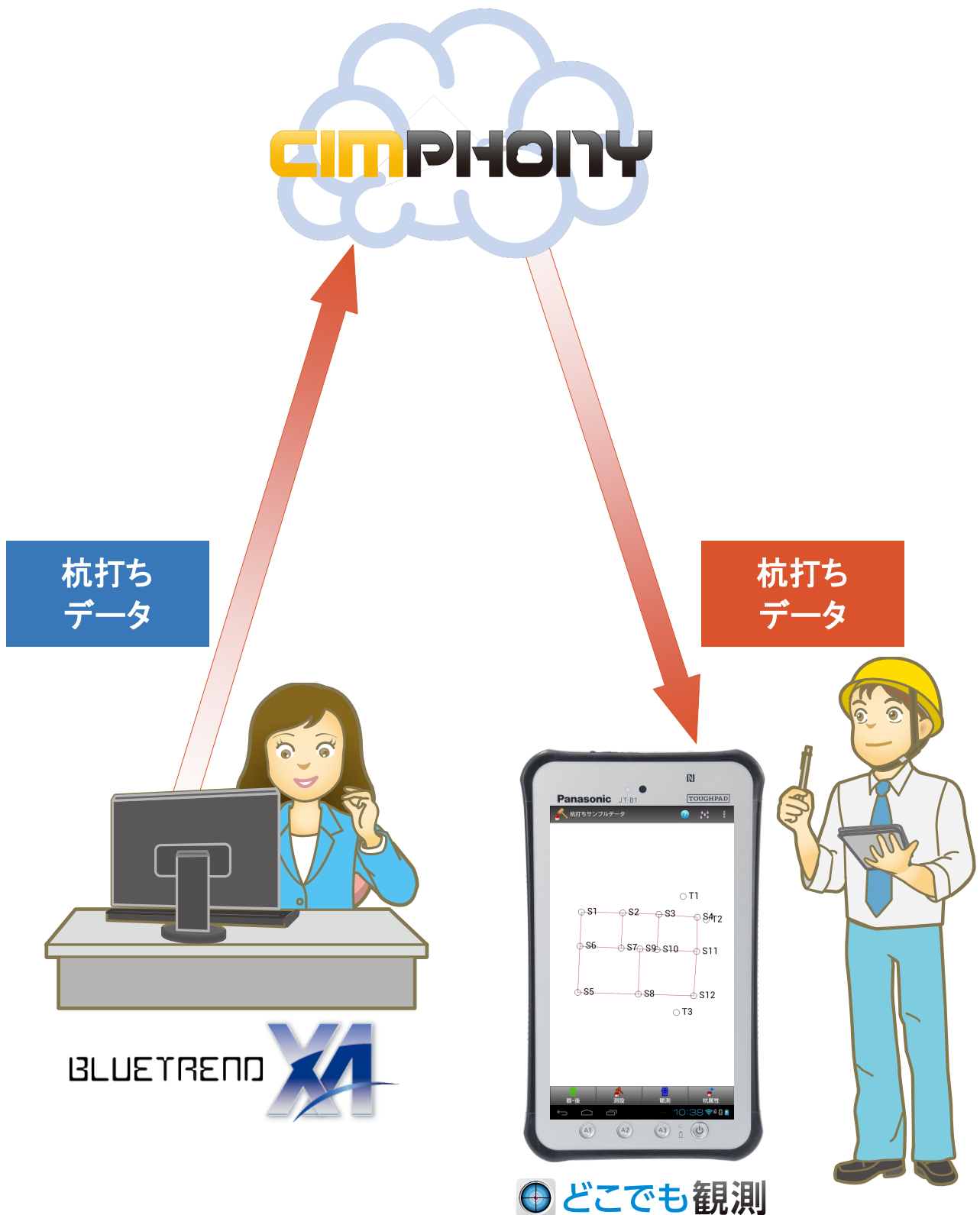
杭打ちツール連携

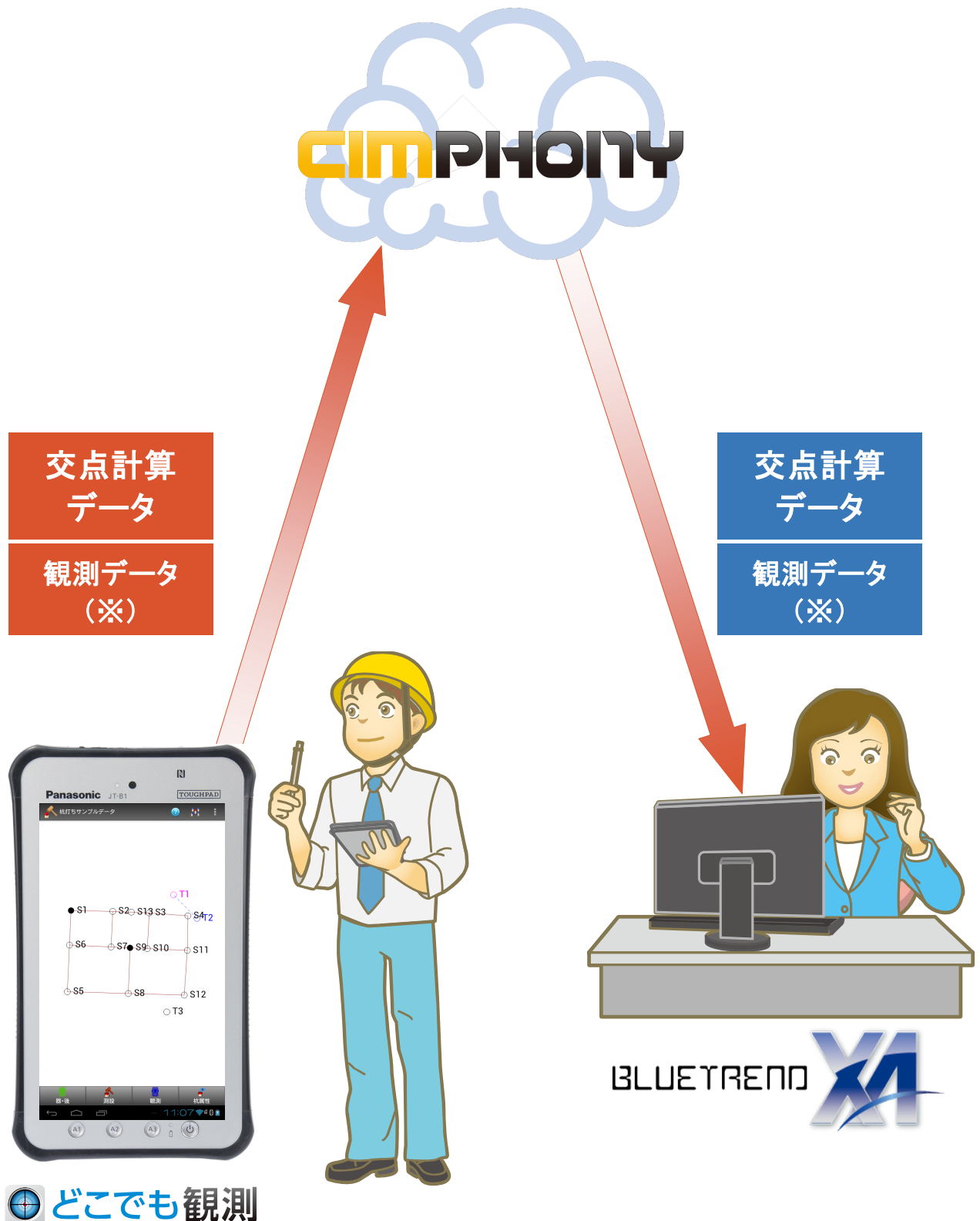
1. 杭打ちツール連携 (入力例) の流れ	1
1-1 BLUETREND XA からどこでも観測 杭打ちツールへの流れ	1
1-2 どこでも観測 杭打ちツールからBLUETREND XAへの流れ	2
2. 杭打ちデータの書き込み	3
2-1 杭打ちデータをCIMPHONYへ書き込む	3
3. 杭打ち	6
3-1 [どこでも観測 杭打ちツール]を起動する	6
3-2 杭打ちデータを取り込む	8
3-3 器械点・後視点を入力する	10
3-4 測設する	12
4. 交点計算	15
4-1 4点交点計算をおこなう	15
4-2 CIMPHONYへアップロードする	17
5. 交点計算データの取り込み	19
5-1 [交点計算]の作業データを新規作成する	19
5-2 交点計算データを取り込む	19

1 杭打ちツール連携(入力例)の流れ

本書では、以下の流れで、どこでも観測 杭打ちツールとBLUETREND XAの連携の操作を解説します。

1-1 BLUETREND XA から どこでも観測 杭打ちツール への流れ





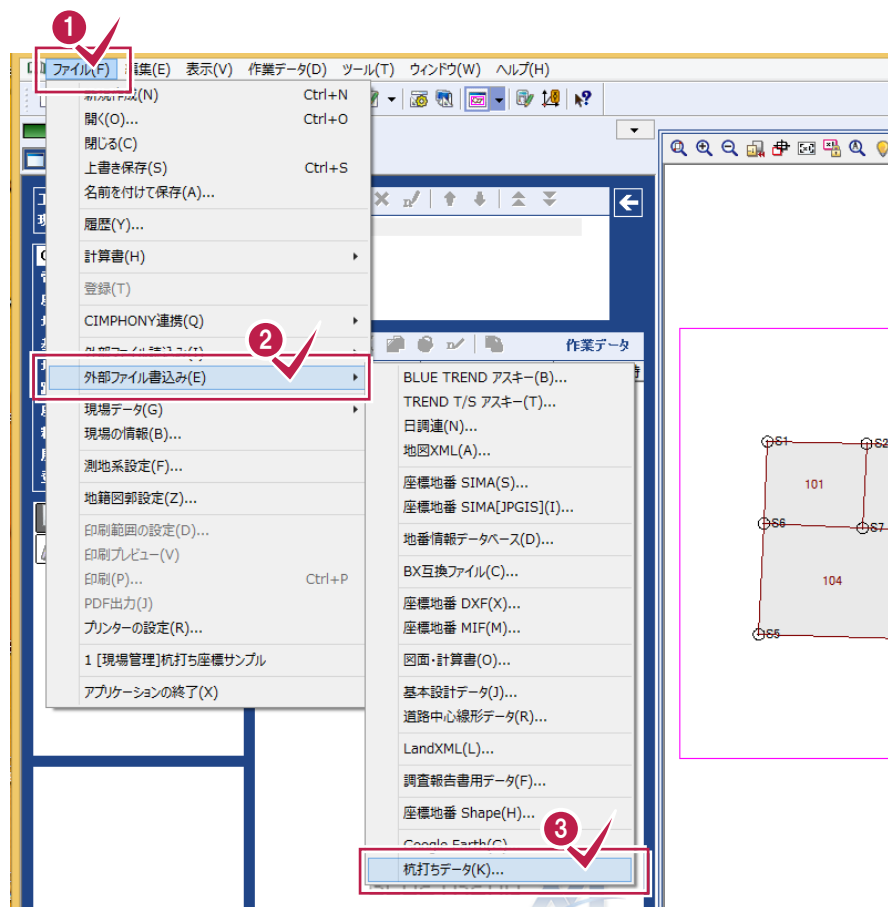
※本書では、観測データの連携については解説していません。杭打ちツールで観測データを入力した場合は、観測データを連携することができます。
 (観測データの連携については、「電子野帳ツール連携.pdf」を参照してください。)

2 杭打ちデータの書き込み

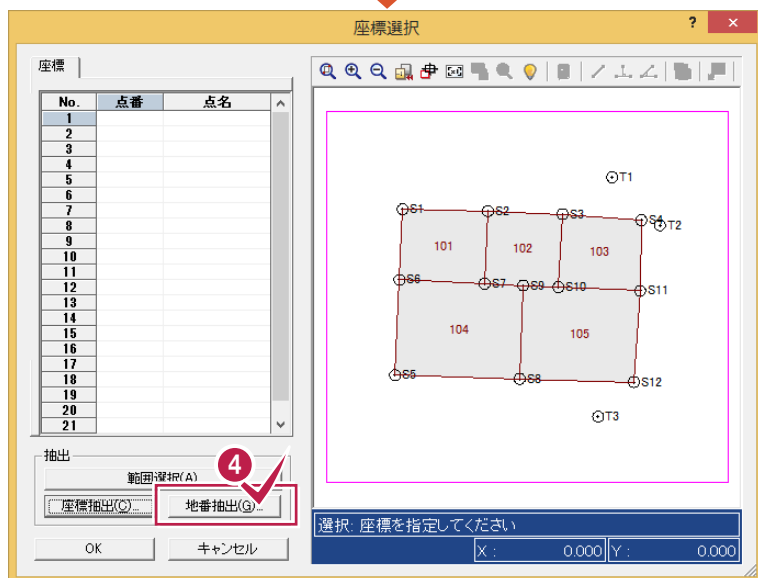
BLUETREND XAの座標を使用して、どこでも観測 杭打ちツールで、杭打ちをおこなうことができます。

2-1 杭打ちデータをCIMPHONYへ書き込む

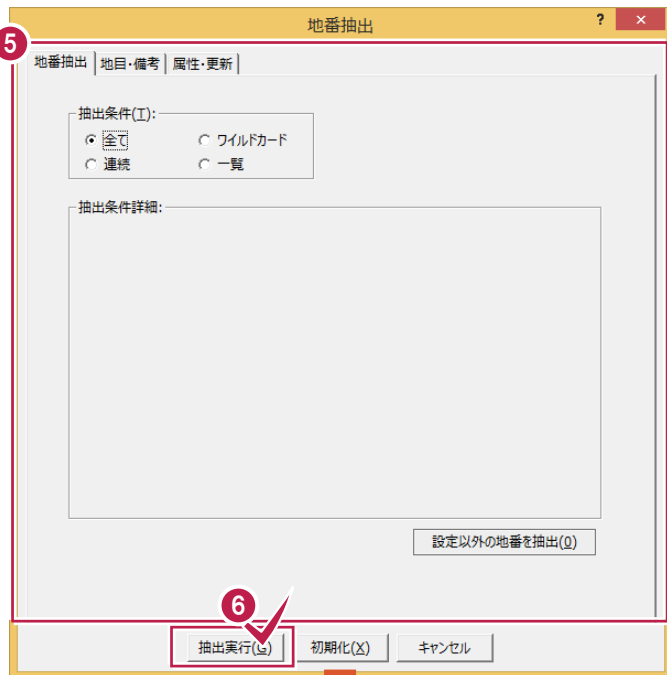
BLUETREND XA から杭打ちデータをCIMPHONYへ書き込みます。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [外部ファイル書込み]をクリックします。
- 3 [杭打ちデータ]をクリックします。

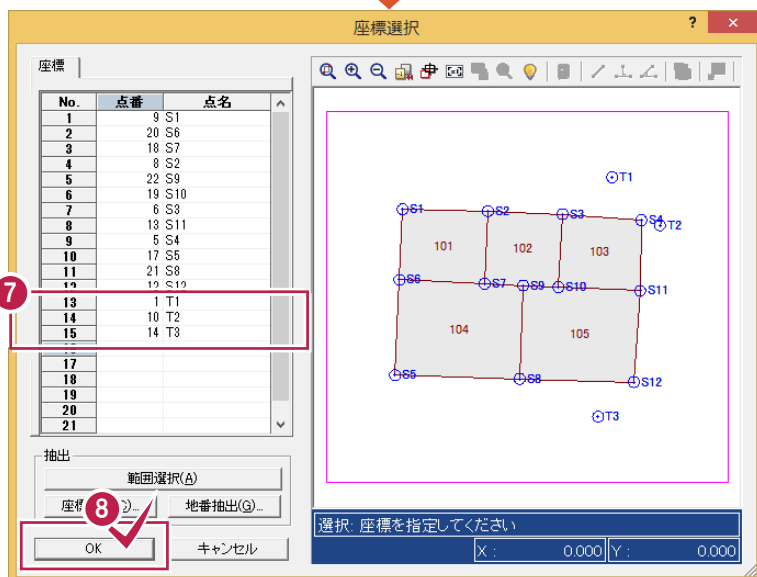


- 4 [地番抽出]をクリックします。



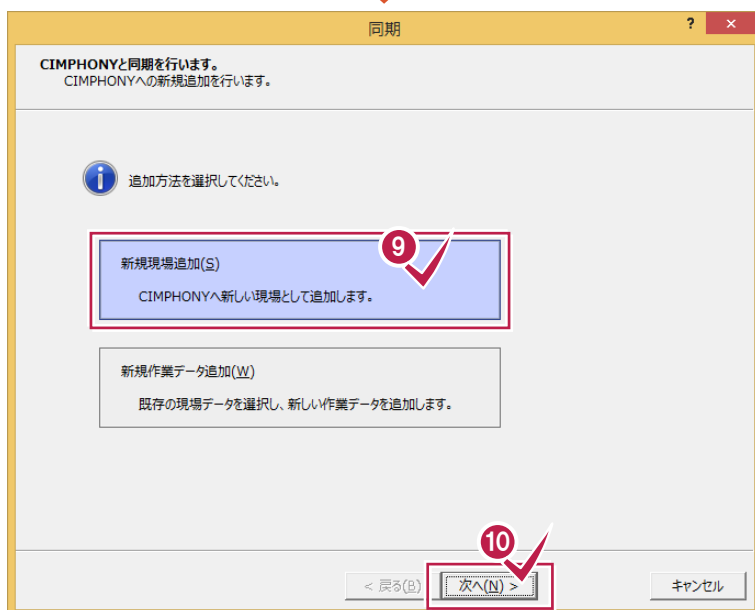
5 抽出条件を設定します。

6 [抽出実行]をクリックします。



7 地番の構成点以外の座標点を入力します。

8 [OK]をクリックします。



9 [新規現場追加]を選択します。

10 [次へ]をクリックします。

同期

CIMPHONYと同期を行います。
新規追加する現場の情報を入力して下さい。

11 現場データの情報

現場名(S): 杭打ち座標サンプル
 依頼者/発注者名(D):
 担当者(A):

12 作業データの情報

作業データ名(W): 杭打ち座標サンプル
 登録者名:

13 [次へ(N)]

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル



同期

CIMPHONYと同期を行います。
確認を行います。

i 下記のデータの同期を行います。

14 現場データの情報

現場名: 杭打ち座標サンプル
 依頼者/発注者名:
 担当者:

作業データの情報

作業データ名: 杭打ち座標サンプル
 登録者名:

15 [実行(E)]

< 戻る(B) 実行(E) キャンセル



BLUETREND XA

i 書き込みが完了しました。

16 [OK]

OK

- 11 現場名を入力します。
- 12 作業データ名を入力します。
- 13 [次へ]をクリックします。

- 14 現場データの情報、作業データの情報を確認します。
- 15 [実行]をクリックします。

- 16 書き込みが完了すると、確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

3 杭打ち

[どこでも観測 杭打ちツール]を起動して、杭打ちをおこないます。

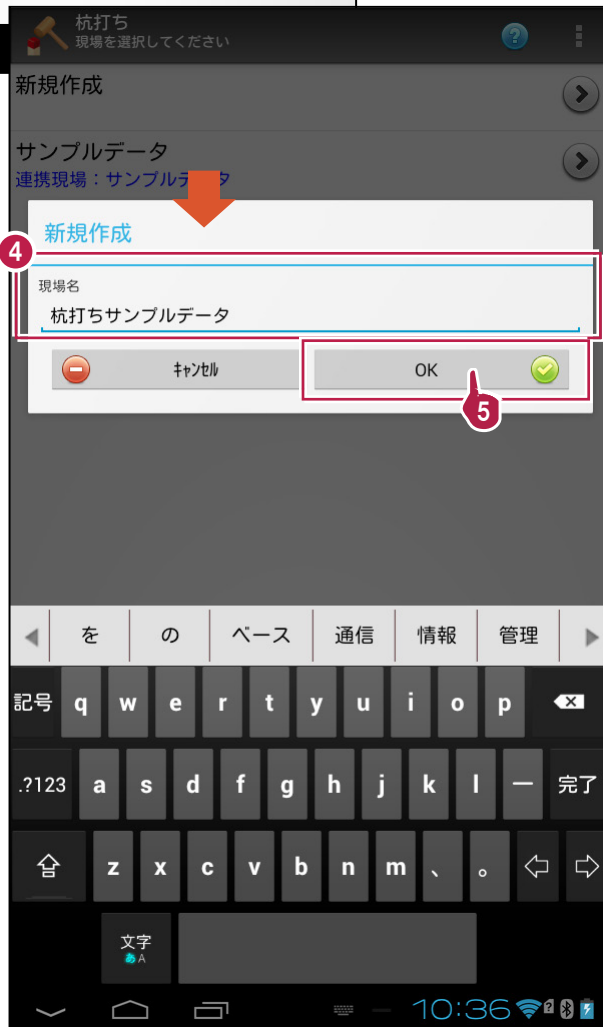
3-1 [どこでも観測 杭打ちツール]を起動する

[どこでも観測 杭打ちツール]を起動します。



1 [どこでも観測]をタップします。

2 [杭打ちツール]をタップします。



3 [新規作成]をタップします。

4 現場名を入力します。

5 [OK]をタップします。

3-2

杭打ちデータを取り込む

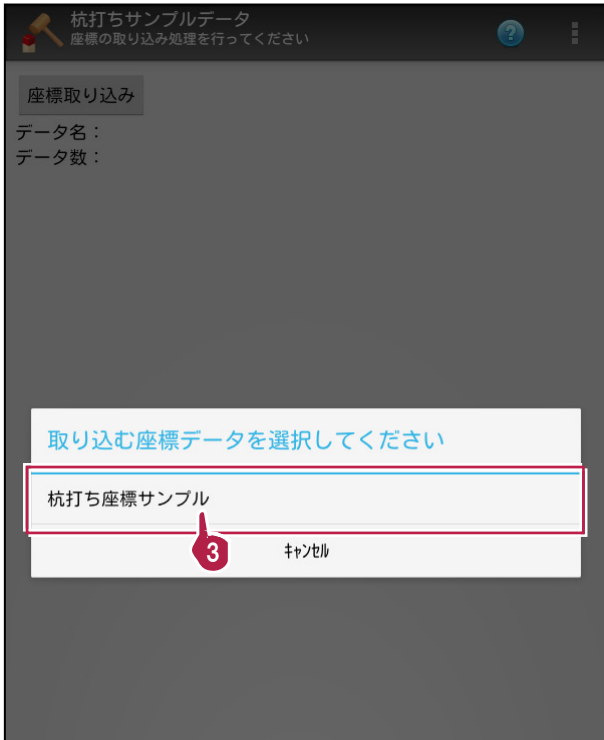
CIMPHONYからBLUETREND XA の杭打ちデータを取り込みます。



1 [CIMPHONYから取り込む] をタップします。



2 現場をタップします。

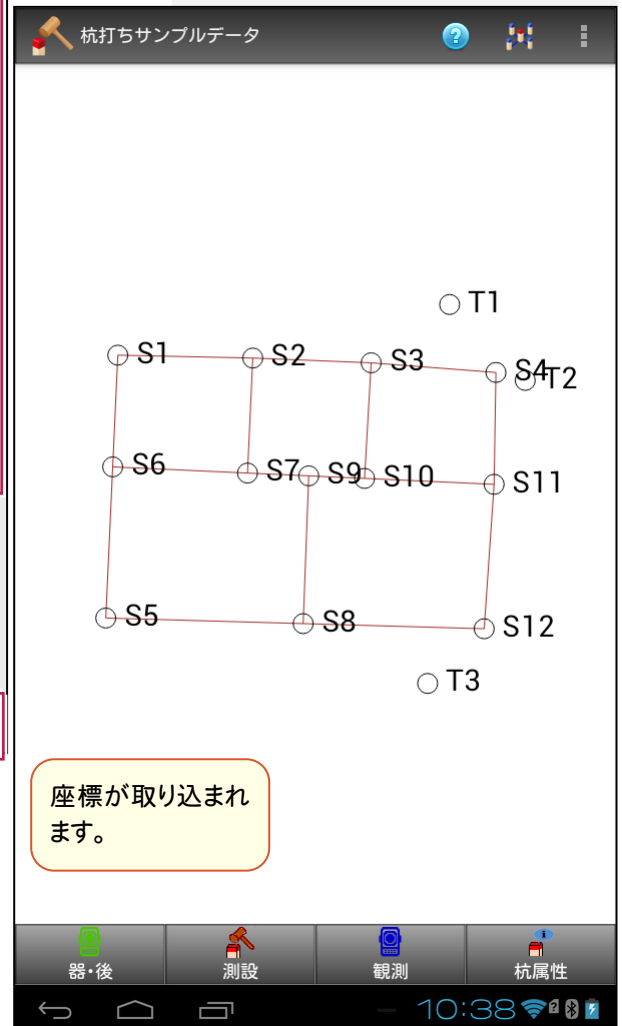


3 取り込む座標データをタップします。



4 取り込む座標データを確認します。

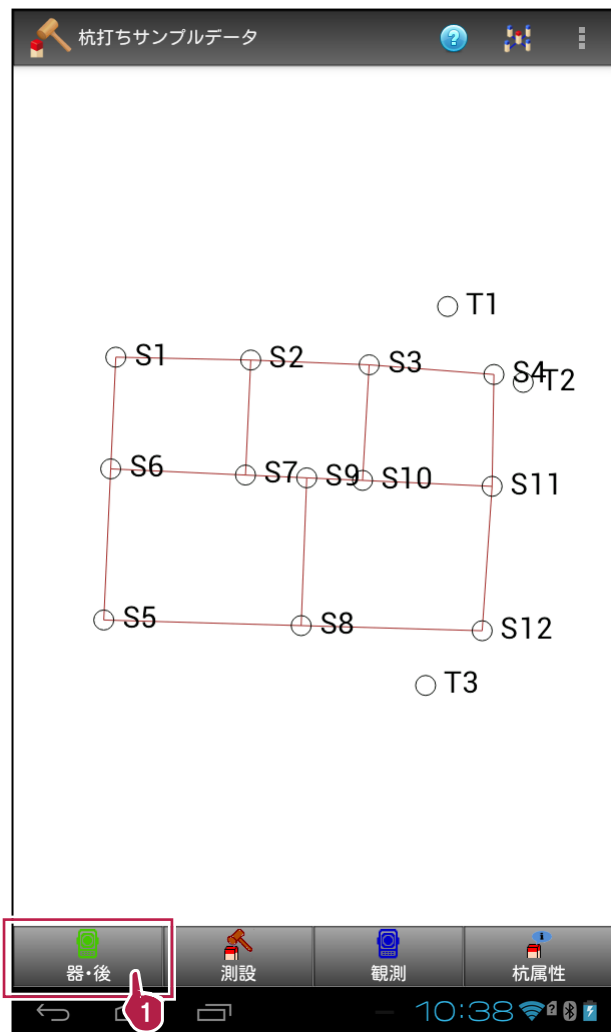
5 [取り込む]をタップします。



3-3

器械点・後視点を入力する

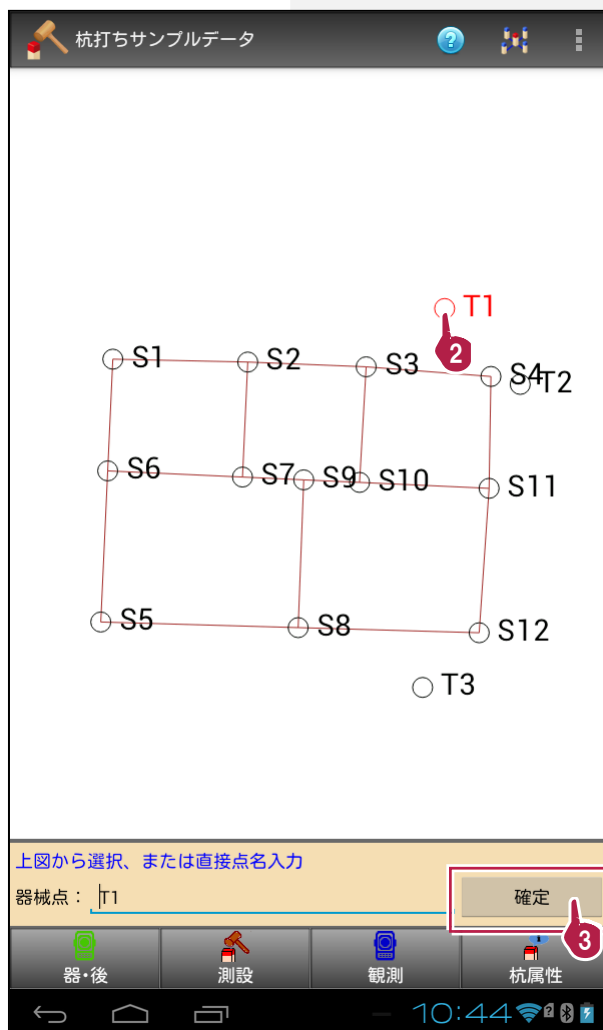
器械点、後視点を入力します。

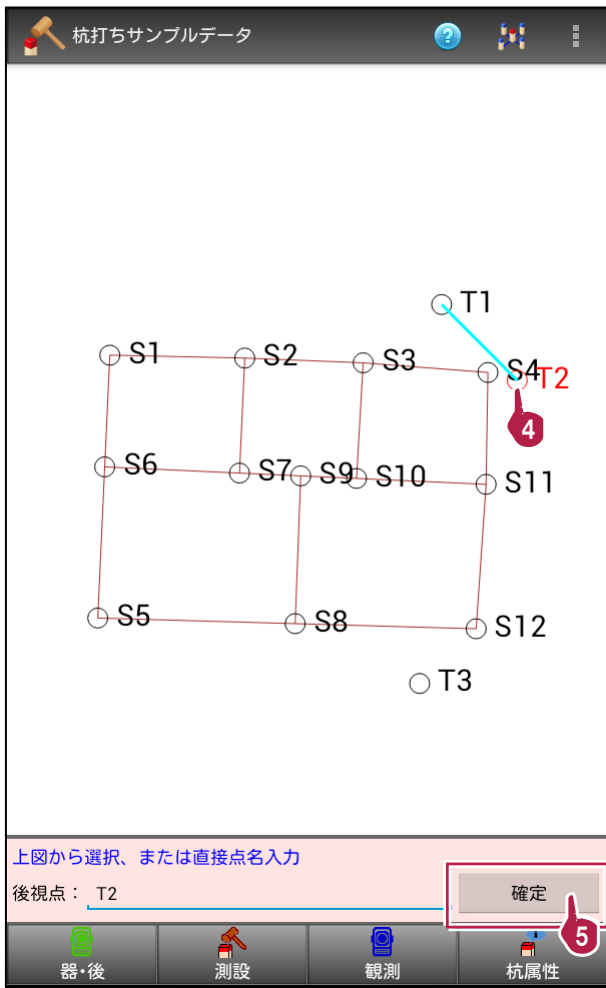


1 [器・後]をタップします。

2 器械点 (ここでは「T1」)を
タップします。

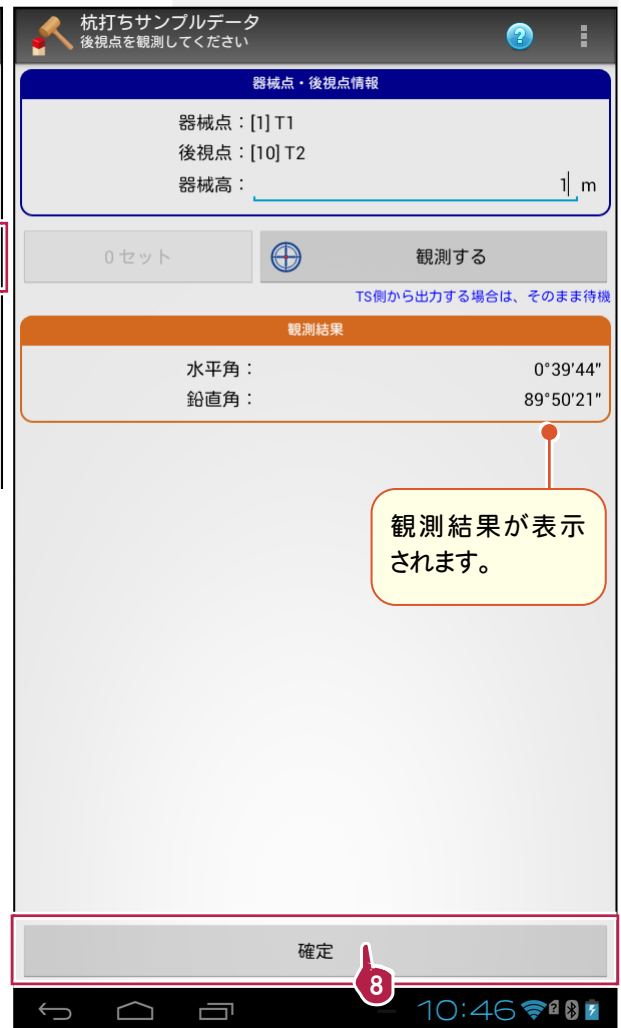
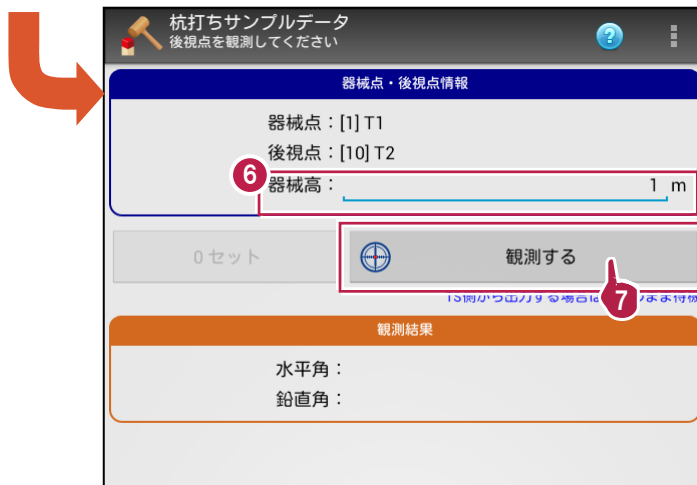
3 [確定]をタップします。





- 4 後視点をタップします。
- 5 [確定]をタップします。

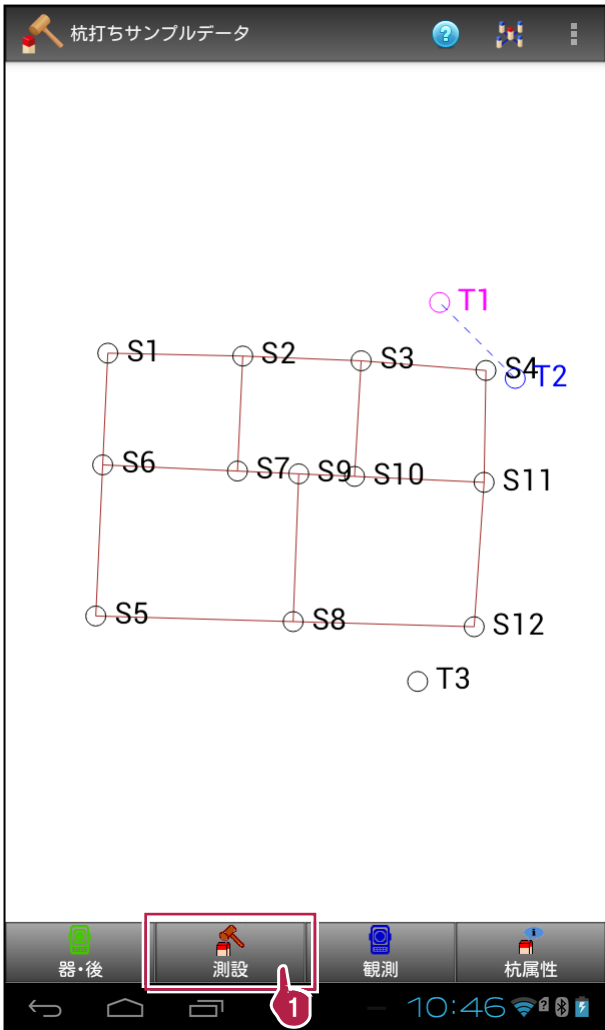
- 6 器械高を入力します。
- 7 [観測する]をタップして、観測をおこないます。
- 8 観測結果を確認して、[確定]をタップします。



3-4

測設する

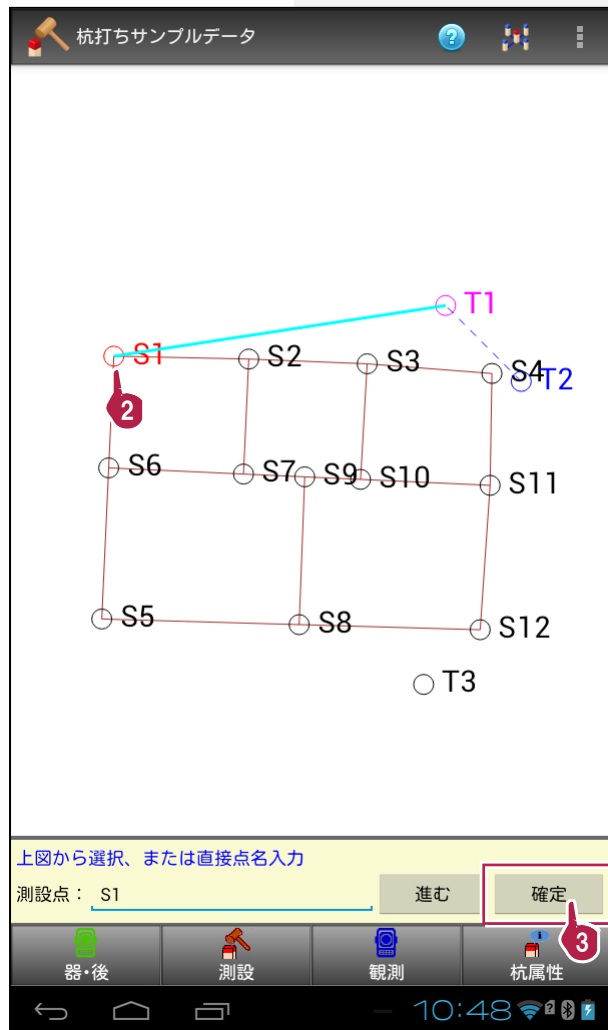
測設します。



1 [測設]をタップします。

2 測設する座標をタップします。

3 [確定]をタップします。





- 4 目標高を入力します。
- 5 TSでミラーを視準して、
[観測する]をタップします。

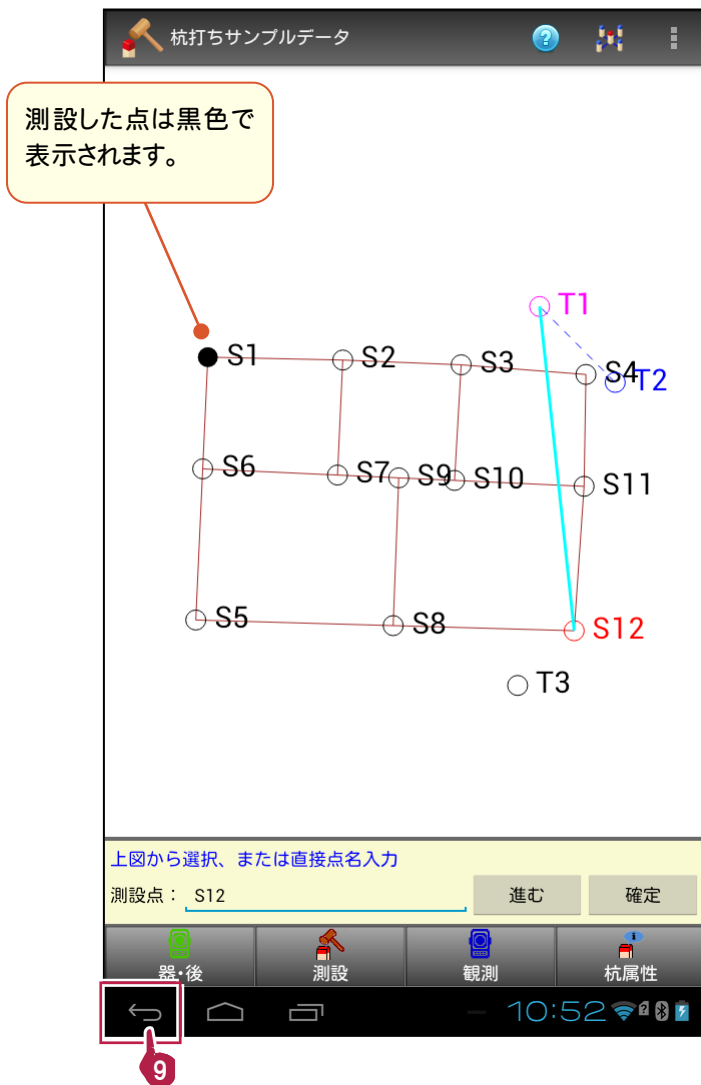
- 6 画面に表示された差を参考に
して、ミラーを移動します。
再度ミラーを視準して、
[観測する]をタップします。
- 7 測設点の観測を終了したら、
[確定]をタップします。

視点(ミラー側・TS側)を切り替えることができます。

測設点と観測点の差が表示されます。

画面に表示された差を参考に、ミラーを移動して、再度観測します。





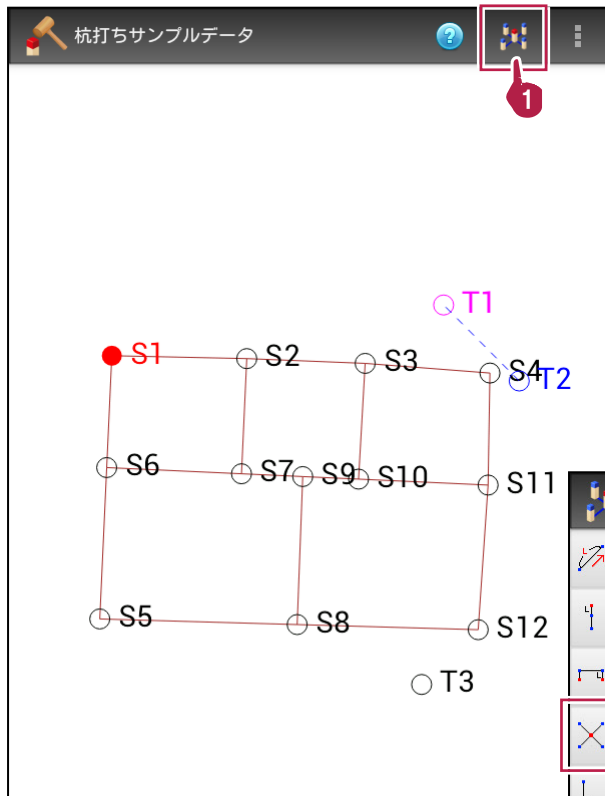
- 8 ②～⑦の操作を繰り返して、他の座標点を測設します。
- 9 測設を終了したら、[戻る]をタップします。

4 交点計算

交点計算をおこなうこともできます。

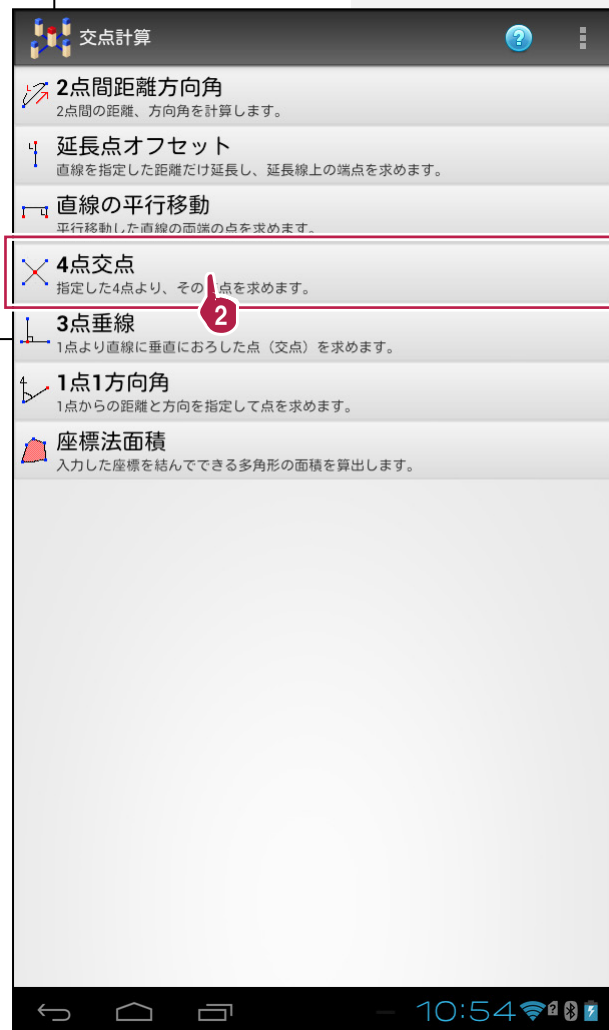
4-1 4点交点計算をおこなう

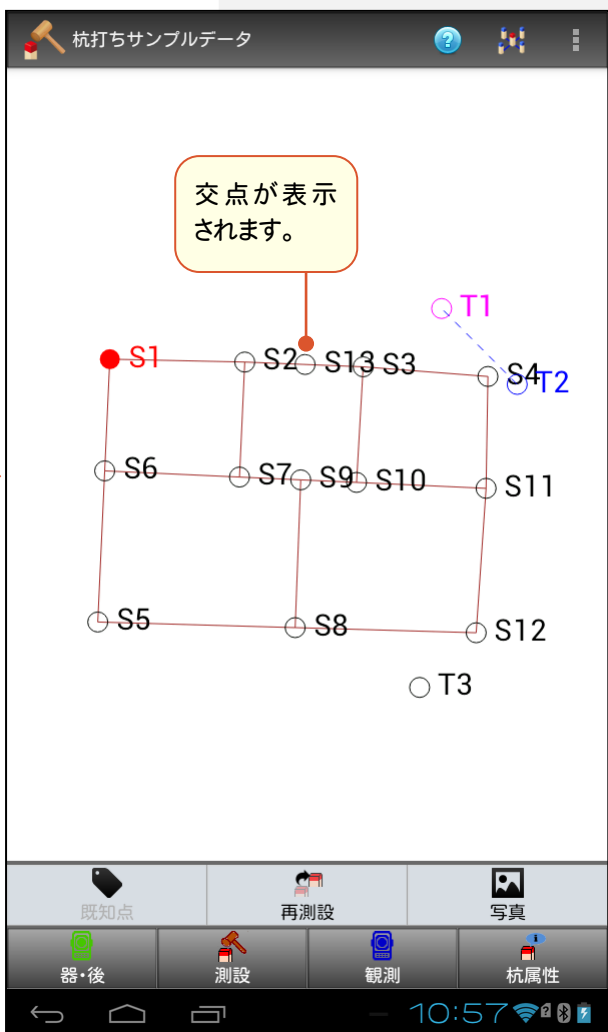
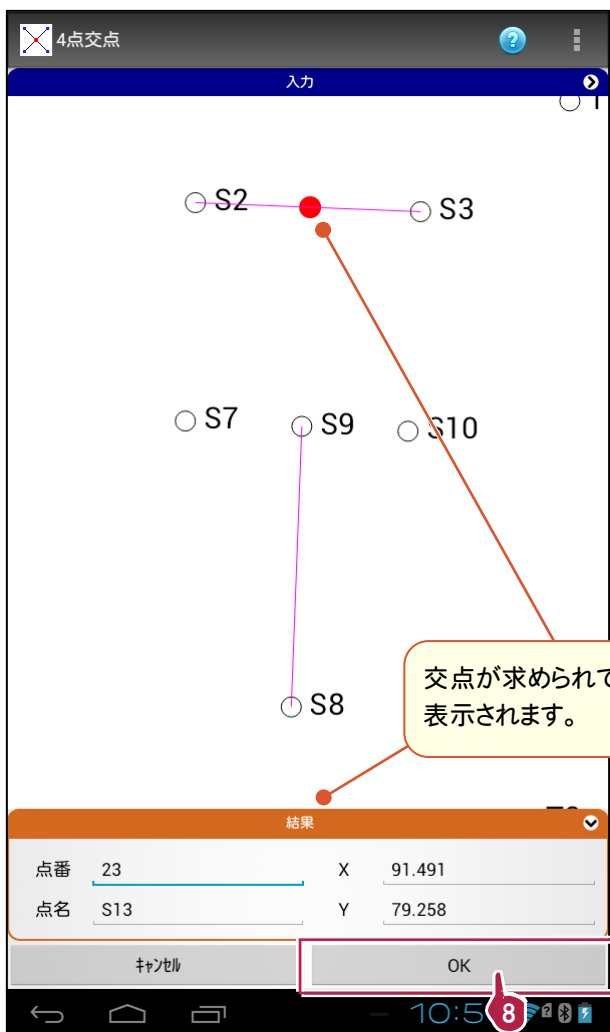
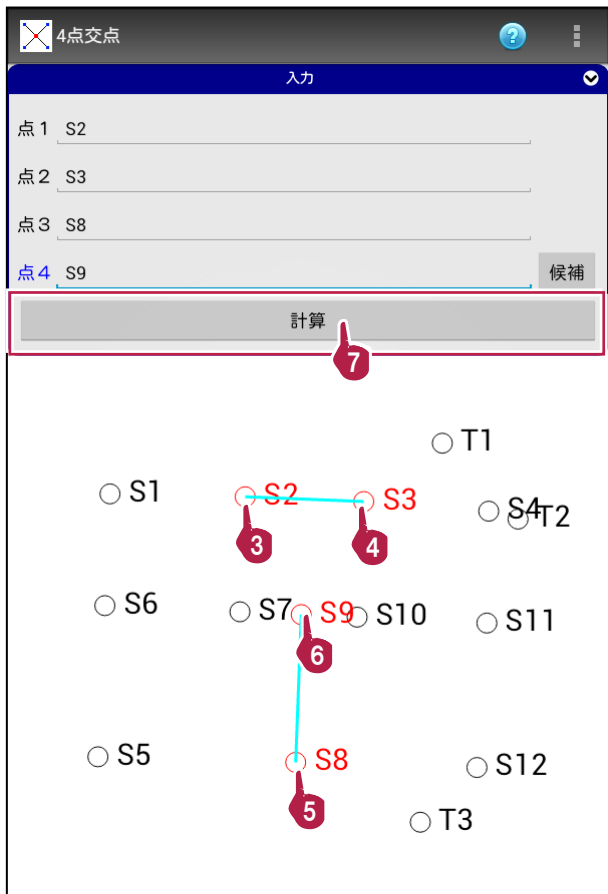
ここでは、4点交点計算をおこなう操作を解説します。



1 [交点計算]のアイコンをタップします。

2 [4点交点]をタップします。





3 4

1本目の直線の2点をタップします。

5 6

2本目の直線の2点をタップします。

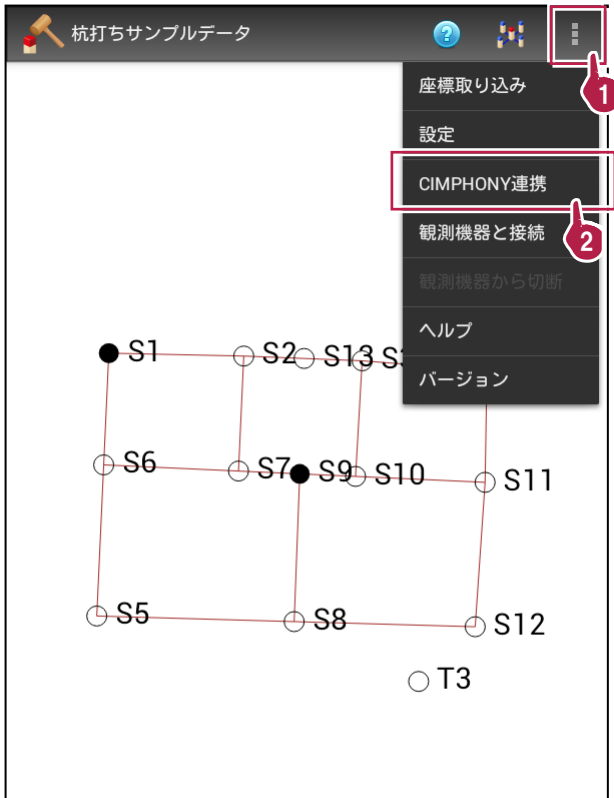
7 [計算]をタップします。

8 求められた交点を確認して [OK]をタップします。

4-2

CIMPHONYへアップロードする

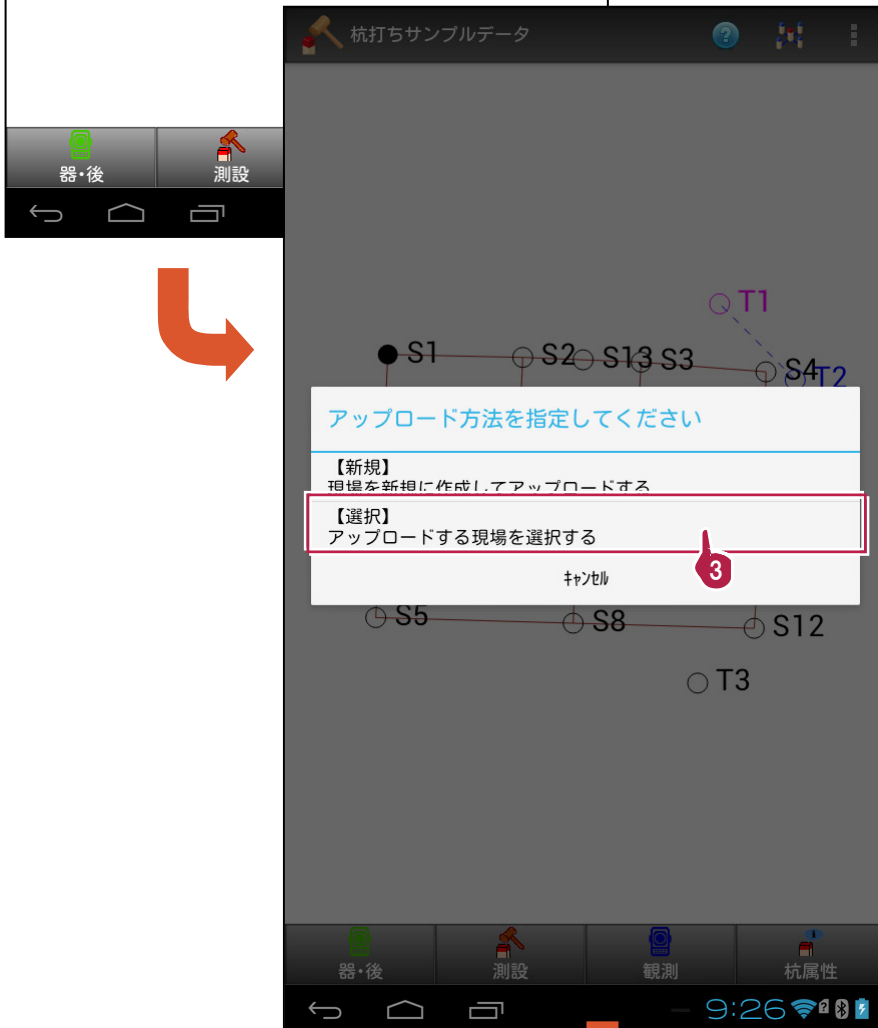
交点計算データをCIMPHONYへアップロードします。



1 [メニュー]をタップします。

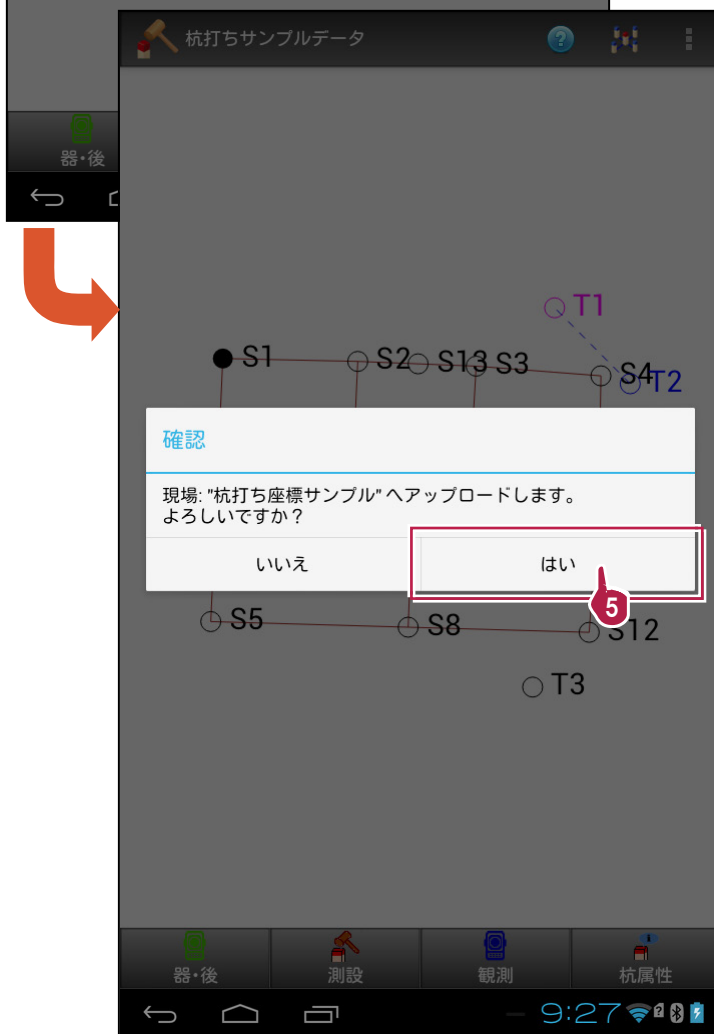
2 [CIMPHONY連携]をタップします。

3 [[【選択】アップロードする現場を選択する]をタップします。



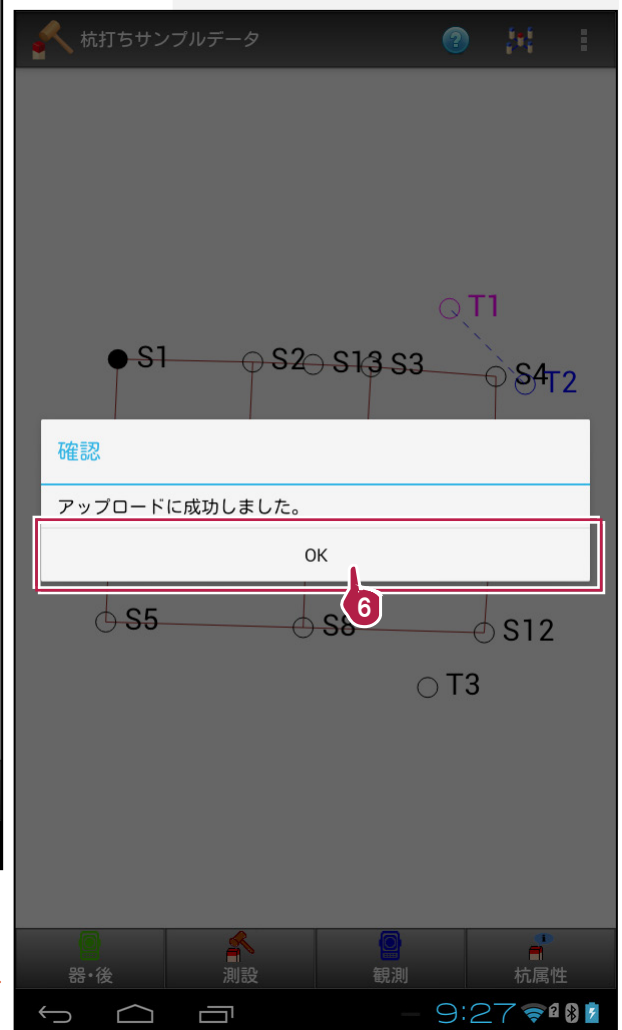


4 現場をタップします。



5 確認のメッセージが表示されますので、[はい]をタップします。

6 完了すると確認のメッセージが表示されますので、[OK]をタップします。

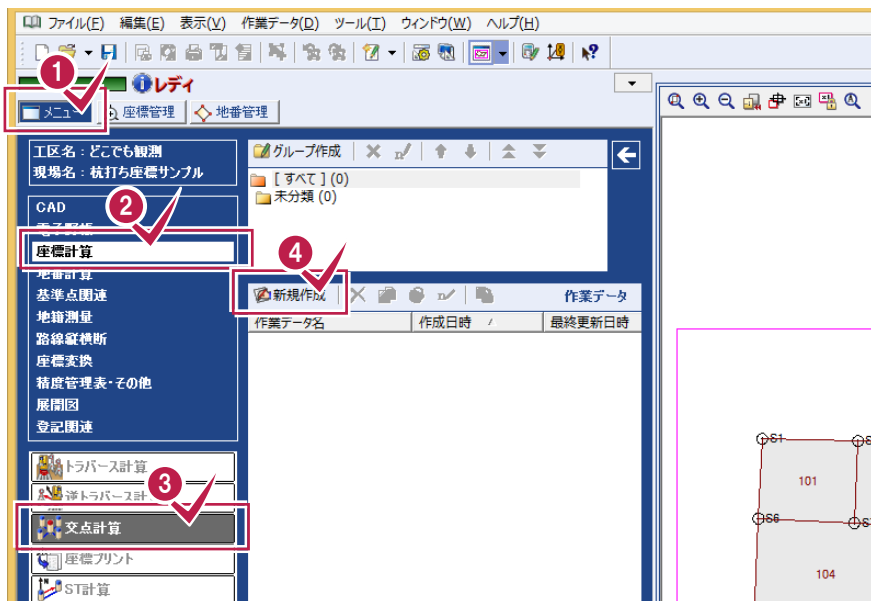


5 交点計算データの取り込み

BLUETREND XAの[交点計算]で、杭打ちツールの交点計算データを取り込みます。

5-1 [交点計算]の作業データを新規作成する

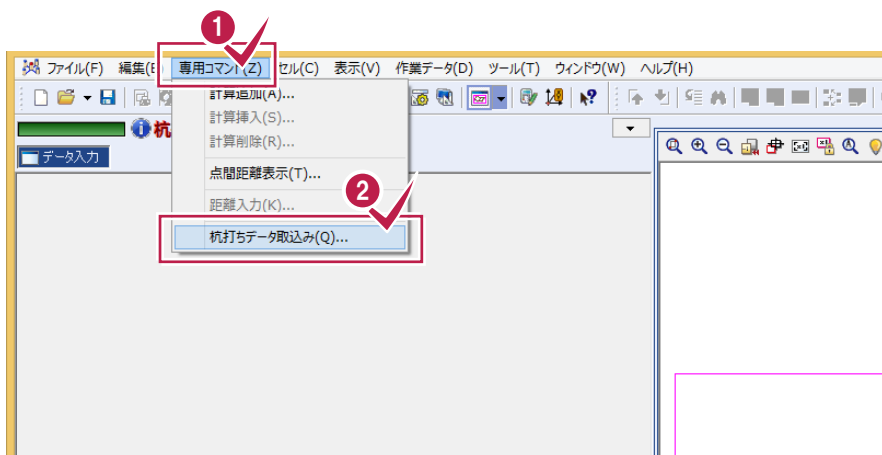
[交点計算]の作業データを新規作成します。



- 1 メインメニューで[メニュー]タブをクリックします。
- 2 [座標計算]をクリックします。
- 3 [交点計算]をクリックします。
- 4 [新規作成]をクリックします。

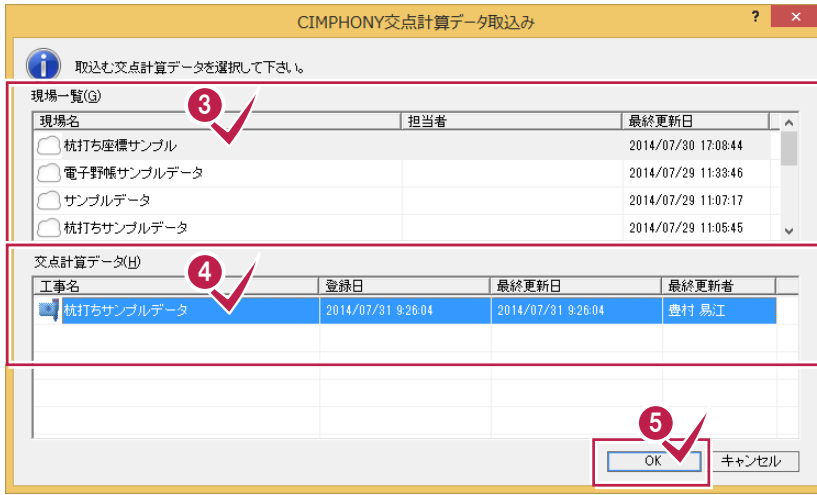
5-2 交点計算データを取り込む

交点計算データを取り込みます。

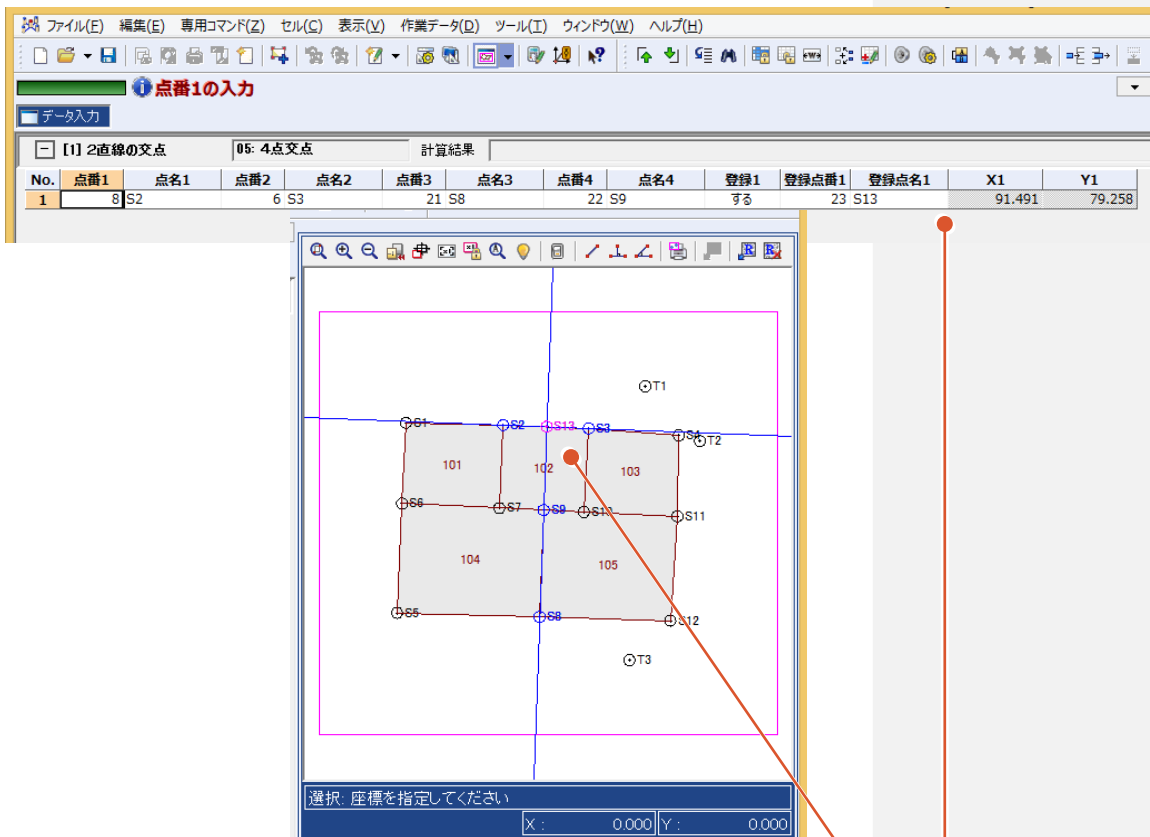


- 1 [専用コマンド]をクリックします。
- 2 [杭打ちデータ取込み]をクリックします。





- 3 現場を選択します。
- 4 交点計算のデータを選択します。
- 5 [OK]をクリックします。



交点計算のデータ、交点の座標が取り込まれます。